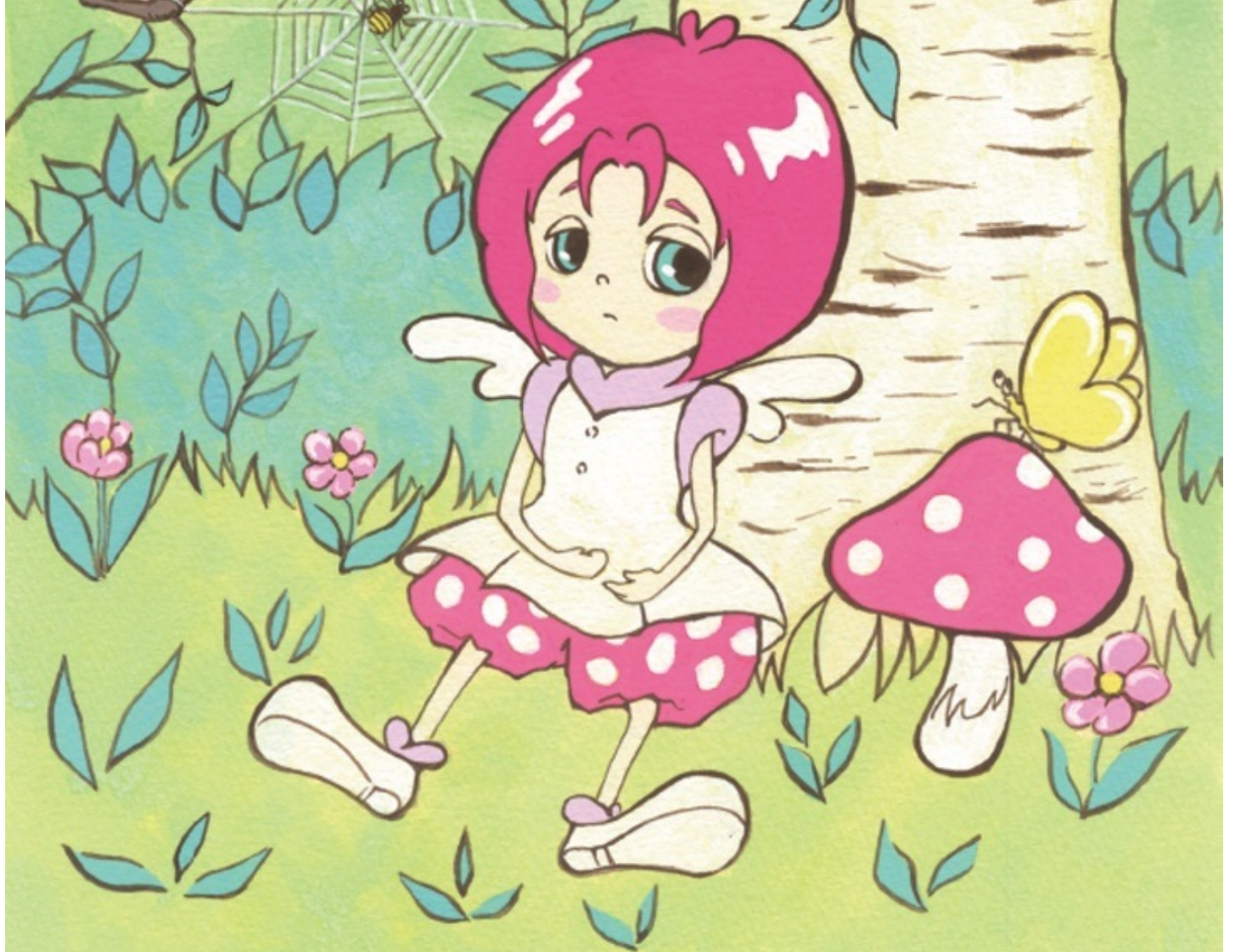



木のファミリーちゃん



さく・おのざと ゆきこ え・あらい まさみ




ふかい森の大きなかばの木の下に、フィミリー
というようせいが住んでいました。
フィミリーは恥ずかしがり屋で、だれか来ても
すぐにかくれてしまってお友達ができません。



たまにまよいこんでくる人間がロズさんでいる
歌を、こっそり聞いて歌ったり、絵をかいたりし
て、いつも1人であそんでいました。





でもいつもひとりぼっちはさみしいので、
今日こそはお友達をつくろうときめたの
でした。
とりあえず近くに住んでいるようせいを
見に行くことにしました。

いちばん近くに住んでいるのは、泉の
ようせいカルミンです。フィミリーが
泉を見ていると、ぷかあ、ぷしゅう、と
コケのようなものがうかんできました。



泉の中からカルミンがあらわれました。
フィミリーはカルミンに見つかってしまいました。


「はは…はじめまして!!」

フィミリーはあわててあいさつをしました。

パコリ

フィミリーは初めてのことであまりにも
はずかしかったので、ものすごいはやさで
空へとんでにげていってしまいました。
そのあと、カルミンがゆっくり
「…こんにちミン」とあいさつしました。




A vibrant, cartoon-style illustration of a bright blue sky filled with fluffy yellow and white clouds. In the top left corner, a large, smiling sun with a face and radiating lines is visible. A character with a pink body and a yellow bell-shaped hat stands on a large, central yellow cloud, with arms raised. Three thin black lines extend from the cloud down towards the bottom of the frame. In the bottom right, a small purple character is visible on a green hill. A yellow speech bubble with a black outline is positioned in the middle of the sky, containing Japanese text.


カルミンがあいさつをおえたころには、
フィミリーは雲の上までとんでいました。




フィミリーは本当にはずかしくて、はずかしくて、
自分のまほうの力を空の上でスパークさせてしまいました。
みるみるうちに空ににじ色がとびちってしまいました。



ファミリーのにじ色のまほうは、森も川も山も、おしゃれが大好きなようせいのおようふくまで、みんなにじ色にしてしまいました。

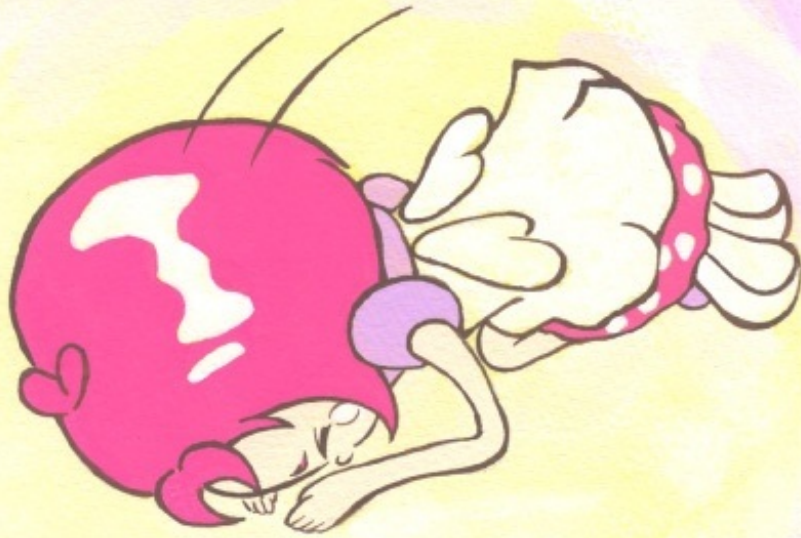


ビックリしたようせいたちが、フィミリーのまわりに集まって来ました。自分の色にこだわりを持っているようせいたちは、「どうしてくれるんだあ」とおこってしまいました。フィミリーはつかれきってにげることも話もできませんでした。そんなフィミリーを見て長老のガルジはフィミリーの心をそっとのぞきました。



ガルジはフィミリーの心をのぞきおえ、しずかに話かけました。「ともだちが作りたかったたまね。はじめはうまくいかないこともあるたま。またがんばればいいたま。今回のことはみんなにあやまれればいいたま。力を合わせれば、すぐにもとにもどせるたまよ。」

ごめんなさい



フィミリーはみんなに「ごめんなさい」と言って、心をこめてあやまりました。みんなはフィミリーが反省していることだし、力をあわせてもとの色にもどすことにしました。



こうしてみんなの力で、少しずつ
もとどおりの世界にもどっていきました。

フィミリーはこのことがあってから、みんなと仲良くなりました。
そして今日も元気にももだちとあそんでいます。

